

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年12月13日

【四半期会計期間】 第18期第2四半期(自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)

【会社名】 株式会社ビューティガレッジ

【英訳名】 BEAUTY GARAGE Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 野村 秀輝

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 経営管理グループ統括責任者 齋藤 高広

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 経営管理グループ統括責任者 齋藤 高広

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第17期 第2四半期 連結累計期間	第18期 第2四半期 連結累計期間	第17期
会計期間		自 2018年5月1日 至 2018年10月31日	自 2019年5月1日 至 2019年10月31日	自 2018年5月1日 至 2019年4月30日
売上高	(百万円)	6,473	7,711	13,852
経常利益	(百万円)	214	316	646
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	125	163	380
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	124	158	380
純資産額	(百万円)	3,550	3,876	3,810
総資産額	(百万円)	6,259	7,245	6,827
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	19.75	25.81	59.80
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	19.75		59.80
自己資本比率	(%)	55.8	51.9	54.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	103	359	607
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	90	138	320
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	113	110	142
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	1,752	2,286	2,052

回次		第17期 第2四半期 連結会計期間	第18期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年8月1日 至 2018年10月31日	自 2019年8月1日 至 2019年10月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	7.83	12.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動については、前連結会計年度まで持分法を適用しない非連結子会社であった台湾美麗平台股份有限公司を重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善からの個人消費の増加を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、米中貿易摩擦やアジア新興国地域の景気悪化の懸念や、各国の貿易政策等の通商問題といった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。

美容業界におきましても、顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当社グループでは顧客基盤が順調に拡大し、2006年より開始した会員制度における累計登録会員数が2019年9月に40万口座を突破いたしました。また、老舗美容器具メーカーの大広製作所と販売代理店契約を締結するなど、様々なメーカー様との取引口座開設も順調に進んでおり、取り扱い商品の大幅な拡充も進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,711,735千円（前年同期比19.1%増）、売上総利益は2,427,094千円（前年同期比21.7%増）、営業利益は314,472千円（前年同期比45.8%増）、経常利益は316,254千円（前年同期比47.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は163,509千円（前年同期比30.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および海外営業拠点を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、WEBマーケティング施策に注力し、EC経由売上高のさらなる拡大を目指してまいりました。また、最新版通販カタログ誌「BG STYLE」3種を発行するなど、オンライン、オフラインともに積極的なプロモーション活動を行っております。

この結果、EC売上高が前年同期比26.1%増（物販売上構成比74.3%）、化粧品・材料売上高が前年同期比31.4%増（物販売上構成比48.0%）と大きく伸長し、物販事業全体としての売上高は6,084,693千円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益は287,936千円（前年同期比46.0%増）となりました。

店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ておりましたが、ビューティガレージグループとしての連携強化と積極的な営業活動を行った結果、チェーン店本部からの受注や大型店舗からの受注が増加しました。当事業の売上高は1,388,311千円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は79,100千円（前年同期比30.4%増）となりました。

その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、店舗リースや講習・アカデミーのソリューションサービスが堅調に伸長したことにより、当事業の売上高は238,730千円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は20,902千円（前年同期比0.3%増）となっております。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.6%増加し、5,837,062千円となりました。これは、主に現金預金及びたな卸資産の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、1,408,724千円となりました。これは、無形固定資産及び投資その他の資産の減少があったものの、有形固定資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、2,933,155千円となりました。これは、主に前受金及び賞与引当金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて28.7%増加し、435,905千円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、3,876,725千円となりました。これは、主に自己株式の取得による減少87,184千円と配当金の支払に伴い利益剰余金の減少57,379千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加163,509千円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ234,177千円増加し、2,286,711千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、359,621千円（前年同期は103,784千円の資金増加）となりました。これは、主にたな卸資産の増加があったものの、前受金の増加及び売上債権の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、138,101千円（前年同期は90,866千円の資金減少）となりました。これは、主に敷金・保証金の差入れ、有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、110,028千円（前年同期は113,096千円の資金増加）となりました。これは、主に自己株式の取得による支出があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	1,200,370	+8.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 金額は製造原価によっております。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
物販事業	3,889,098	+11.9
その他周辺ソリューション事業	90,470	+8.8
合計	3,979,569	+11.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 金額は仕入価格によっております。

受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	1,795,822	+30.4	602,836	+35.5

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	販売高(千円)		前年同四半期比(%)
		前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	
物販事業		4,995,007	6,084,693	21.8
	理美容機器	2,458,544	2,840,244	15.5
	化粧品等	2,222,700	2,921,433	31.4
	金属スチール家具	313,762	323,014	2.9
店舗設計事業		1,274,328	1,388,311	8.9
その他周辺ソリューション事業		203,914	238,730	17.1
合計		6,473,251	7,711,735	19.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,160,000
計	21,160,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (2019年12月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,376,000	6,376,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	6,376,000	6,376,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年8月1日～ 2019年10月31日		6,376,000		768,385		719,652

(5) 【大株主の状況】

2019年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野村 秀輝	東京都世田谷区	1,807,035	28.59
供田 修一	東京都世田谷区	712,897	11.28
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)SUB A/C NONTREATY (常任代理人 香 港上海銀行東京支店 カストディ 業務部)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	299,800	4.74
野村 貴久	東京都世田谷区	291,050	4.60
高橋 慧	東京都新宿区	256,500	4.06
樺島 義明	東京都世田谷区	250,697	3.97
GOLDMAN SACHS & CO.REG (常任 代理人 ゴールドマン・サック ス証券株式会社)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東京都 港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森 タワー)	239,300	3.79
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	155,800	2.46
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040 (常任代理人 株式会社 みずほ銀行決済営業部)	USNY 225 LIBERTY STREET, NEW YORK, NEW YORK, U.S.A. (東京都港区港南2丁目15-1品 川インターシティA棟)	146,900	2.32
資産管理サービス信託銀行株式 会社(証券投資信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海トリトン スクエアタワーZ	108,300	1.71
計	-	4,268,279	67.53

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 54,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,316,900	63,169	単元株式数は100株であります。権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 4,200		
発行済株式総数	6,376,000		
総株主の議決権		63,169	

【自己株式等】

2019年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ビューティガ レッジ	東京都世田谷区桜新町一丁 目34番25号	54,900	-	54,900	0.9
計		54,900	-	54,900	0.9

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当第2四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(令和元年8月1日から令和元年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(令和元年5月1日から令和元年10月31日まで)の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,052,533	2,286,711
受取手形及び売掛金	1,163,717	1,043,821
営業投資有価証券	-	87,700
商品及び製品	1,635,124	1,530,423
仕掛品	83,264	338,229
その他	506,694	564,613
貸倒引当金	16,969	14,435
流動資産合計	5,424,365	5,837,062
固定資産		
有形固定資産	251,499	314,249
無形固定資産		
のれん	146,732	137,670
その他	308,100	296,569
無形固定資産合計	454,832	434,240
投資その他の資産	696,664	660,234
固定資産合計	1,402,997	1,408,724
資産合計	6,827,362	7,245,787
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233,436	1,237,656
短期借入金	47,000	27,000
1年内返済予定の長期借入金	157,802	184,066
未払金	280,290	265,364
未払法人税等	149,315	185,205
前受金	240,832	442,907
賞与引当金	50,628	180,412
訴訟損失引当金	12,274	-
その他	506,658	410,544
流動負債合計	2,678,238	2,933,155
固定負債		
長期借入金	158,400	232,776
ポイント引当金	74,442	83,974
資産除去債務	44,224	44,834
退職給付に係る負債	8,434	7,997
その他	53,263	66,322
固定負債合計	338,764	435,905
負債合計	3,017,003	3,369,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	712,345	713,956
利益剰余金	2,269,475	2,364,734
自己株式	351	87,535
株主資本合計	3,749,854	3,759,540
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,102	18,920
その他の包括利益累計額合計	6,102	18,920
新株予約権	1,028	1,028
非支配株主持分	65,578	135,077
純資産合計	3,810,358	3,876,725
負債純資産合計	6,827,362	7,245,787

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
売上高	6,473,251	7,711,735
売上原価	4,478,794	5,284,641
売上総利益	1,994,456	2,427,094
販売費及び一般管理費	1,778,736	2,112,621
営業利益	215,719	314,472
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	64
固定資産売却益	-	4,289
その他	1,485	3,731
営業外収益合計	1,504	8,085
営業外費用		
支払利息	1,050	1,279
固定資産除却損	-	2,633
その他	1,897	2,390
営業外費用合計	2,948	6,303
経常利益	214,275	316,254
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	-	840
固定資産売却益	89	-
特別利益合計	89	840
特別損失		
減損損失	-	16,695
特別損失合計	-	16,695
税金等調整前四半期純利益	214,365	300,400
法人税、住民税及び事業税	105,076	171,245
法人税等調整額	18,804	36,837
法人税等合計	86,271	134,407
四半期純利益	128,094	165,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,415	2,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,678	163,509

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
四半期純利益	128,094	165,992
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,992	7,593
四半期包括利益	124,102	158,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,921	157,067
非支配株主に係る四半期包括利益	2,180	1,331

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	214,365	300,400
減価償却費	59,650	81,440
減損損失	-	16,695
のれん償却額	20,054	22,794
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,606	2,533
ポイント引当金の増減額(は減少)	8,493	9,531
その他の引当金の増減額(は減少)	103,435	136,815
受取利息及び受取配当金	19	64
支払利息	1,050	1,279
有形固定資産売却損益(は益)	89	4,289
売上債権の増減額(は増加)	163,026	130,286
たな卸資産の増減額(は増加)	302,579	232,401
仕入債務の増減額(は減少)	335,544	21,996
前渡金の増減額(は増加)	132,339	49,847
未払金の増減額(は減少)	86,923	36,359
前受金の増減額(は減少)	183,554	202,075
その他	88,695	120,224
小計	239,902	533,296
利息及び配当金の受取額	19	64
利息及び保証料の支払額	1,013	1,276
和解金の支払額	-	11,433
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	135,123	161,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,784	359,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	31,957	63,022
有形固定資産の売却による収入	90	57,654
無形固定資産の取得による支出	28,220	22,180
投資有価証券の取得による支出	15,474	65,000
敷金保証金の差入による支出	31,508	45,059
敷金保証金の回収による収入	16,698	-
その他	493	493
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,866	138,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	79,998	49,911
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	116,003	99,359
リース債務の返済による支出	-	2,469
株式の発行による収入	349,430	-
非支配株主からの払込みによる収入	15,617	-
配当金の支払額	55,949	57,519
自己株式の取得による支出	-	100,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,096	110,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,955	8,650
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	124,059	102,840
現金及び現金同等物の期首残高	1,607,648	2,052,533
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20,646	131,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,752,354	1 2,286,711

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
前連結会計年度まで持分法を適用しない非連結子会社であった、台湾美麗平台股份有限公司については、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
給料手当	350,171千円	424,415千円
賞与引当金繰入額	100,818 "	110,755 "
貸倒引当金繰入額	6,940 "	2,533 "
ポイント引当金繰入額	59,260 "	73,950 "
製品保証引当金繰入額	6,189 "	7,664 "
株主優待引当金繰入額	863 "	1,620 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
現金及び預金	1,752,354 千円	2,286,711 千円
現金及び現金同等物	1,752,354 千円	2,286,711 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月14日 取締役会決議	普通株式	55,957	9.00	2018年4月30日	2018年7月27日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月13日 取締役会決議	普通株式	57,379	9.00	2019年4月30日	2019年7月26日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,995,007	1,274,328	203,914	6,473,251	-	6,473,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149,321	29,784	14,642	193,749	193,749	-
計	5,144,329	1,304,113	218,557	6,667,000	193,749	6,473,251
セグメント利益	197,153	60,638	20,847	278,639	62,920	215,719

(注) 1. セグメント利益の調整額 62,920千円には、セグメント間取引消去25,353千円、未実現利益の調整額 3,084千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 91,358千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,084,693	1,388,311	238,730	7,711,735	-	7,711,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,412	35,995	12,527	89,936	89,936	-
計	6,126,106	1,424,307	251,258	7,801,672	89,936	7,711,735
セグメント利益	287,936	79,100	20,902	387,940	73,467	314,472

(注) 1. セグメント利益の調整額 73,467千円には、セグメント間取引消去32,866千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 106,334千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

物販事業に属する連結子会社BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHDに係るのれんについて、当初想定していた収益の達成に遅れが生じており、計画値の達成には時間を要すると判断したことから、未償却残高16,695千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	19.75 円	25.81 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	125,678	163,509
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	125,678	163,509
普通株式の期中平均株式数(株)	6,362,121	6,334,904
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	19.75 円	
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	1,226	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年12月11日

株式会社 ビューティガレッジ
取締役 会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 塚 亨

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 山 太 一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティガレッジの2019年5月1日から2020年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年8月1日から2019年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年5月1日から2019年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティガレッジ及び連結子会社の2019年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。